

株式会社フィスコ2020年12月期 第3四半期決算説明資料

2020年11月13日



Copyright(c) 2012 by FISCO Ltd.

No part of this publication may be reproduced, stored in retrieval system, or transmitted in any means --- electronic, mechanical, photocopying, recording and otherwise --- without permission of FISCO Ltd.
This document provides an outline of a presentation and is incomplete without accompanying oral commentary and discussion.

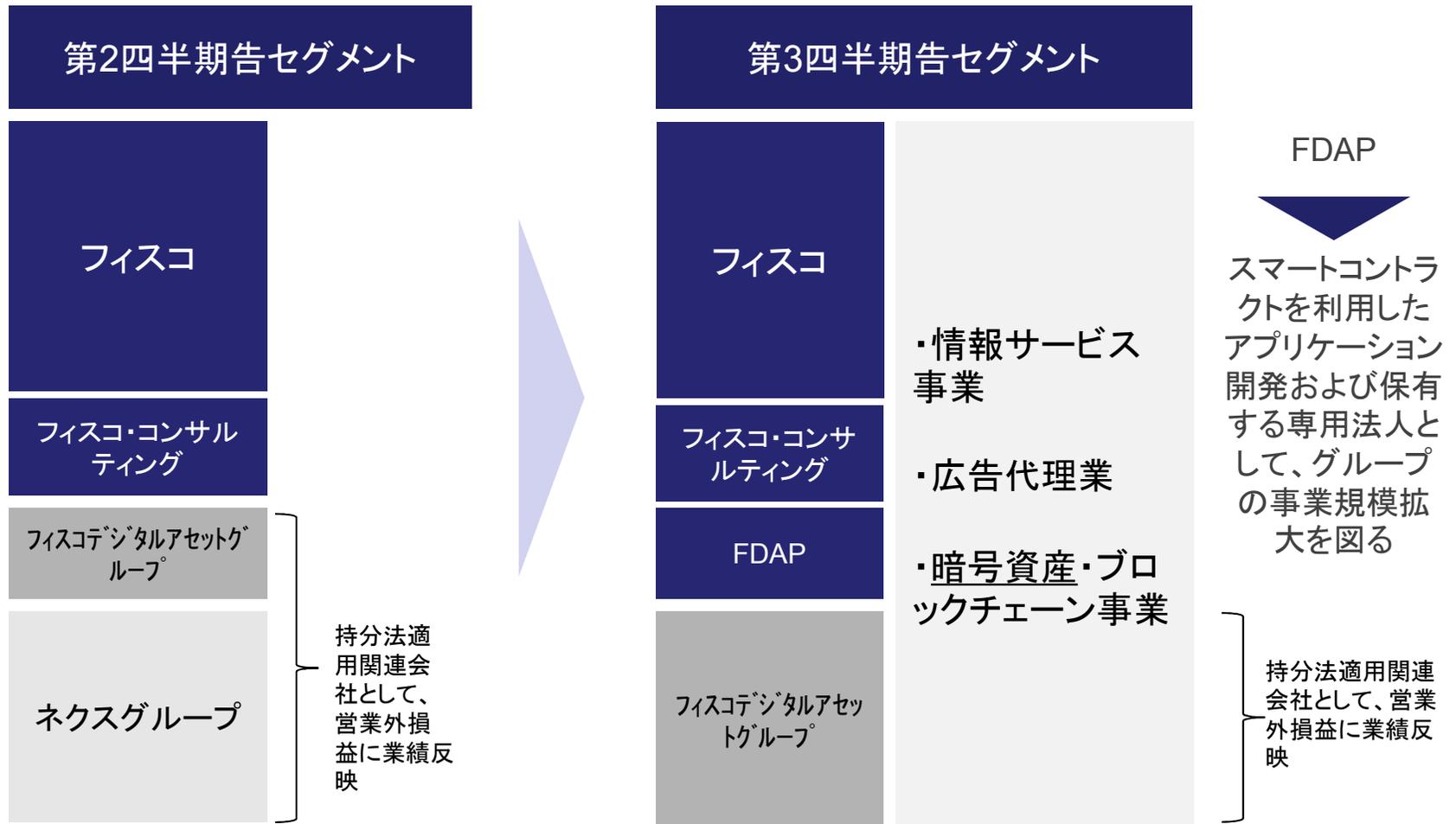
I . 2020年第3四半期連結業績概要

II . 事業計画達成に向けた取組み

2020年第3四半期連結業績概要

連結業績ハイライト(報告セグメント)

第3四半期よりネクスグループを持分法適用関連会社から除外。持分法適用関連会社の子会社であった株式会社FISCO Decentralized Application Platform (FDAP)を連結子会社化



連結業績概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、クライアント企業のサービス解約や一時中断および下期偏重型の業績傾向で第3四半期はマイナスで着地

単位:百万円

	2019年12月期 第3四半期	2020年12月期 第3四半期	対前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高※	5,501	716	▲4,785	▲86%
今期報告セグメント売上高	874	716	▲157	▲18%
営業利益	▲548	▲81	467	—
経常利益	▲826	▲246	580	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲496	▲85	411	—

※2019年12月期第3四半期数値は、ネクスグループ連結数値を含む

下期偏重型の業績傾向のため、第4四半期で黒字化の見込み

連結業績概要(セグメントごとの業績推移)

情報サービス事業は、前期比で減少したものの、広告代理業において利益率の高い案件獲得と経費削減により、前期比で増益で推移

単位:百万円

	2019年12月期 第3四半期		2020年12月期 第3四半期		対前期差異	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
情報サービス事業	811	156	674	141	▲137	▲15
広告代理業	62	▲12	36	2	▲26	16
仮想通貨・ブロック チェーン事業	11	▲1	5	4	▲6	5

連結業績概要(自己資本比率改善)

前期末に比較して、手元流動性の確保に加えて、自己資本比率も順調に改善しており、引き続き安定的な財政状態を維持

単位:百万円

	2019年12月 期(前期末)	2020年12月 期第2四半期	増減	増減率
流動資産	369	467	98	127%
固定資産	1,833	2,160	327	118%
資産合計	2,203	2,627	424	119%
流動負債	336	276	▲60	▲18%
固定負債	1,080	1,154	74	107%
負債合計	1,416	1,430	13	9%
純資産	786	1,197	411	152%

流動比率

110%



169%

自己資本比率

36%



46%

事業計画達成に向けた取組み

事業計画(2020年12月期)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、サービスの解約および検収時期の変更は生じているものの計画数値達成に向け、引き続き、**①利益率の高い案件獲得、②営業効率の改善、③ローコストオペレーション**を実施

1. 事業計画数値目標

単位:百万円

	2020年12月期
売上高合計	1,246
情報サービス事業	1,138
広告代理業	108
仮想通貨・ブロックチェーン事業 ※	—
営業利益	156

2. 目標の実現に向けた具体的な諸施策

- ① 個人投資家向けコンテンツ拡販の推進、投資教育・金融経済コンテンツサービス強化
- ② 仮想通貨(暗号資産)の情報配信、機関投資家向けコンテンツの新規販売
- ③ スポンサー型アナリストレポート(企業調査レポート)営業推進強化
- ④ 広告媒体提案力の強化や制作プロセス改善
- ⑤ クシム社との連携によるオンライン会社説明会等設営事業
- ⑥ クシム社との連携による社外取締役派遣事業
- ⑦ 管理体制のさらなる強化(組織横断的な体制強化を推進)

新規コンテンツ開始	<ul style="list-style-type: none">・機関投資家向け設備投資関連の個別銘柄の分析レポート配信開始・YouTube「FISCO TV」動画配信、ソーシャルレポーターとの YouTube 分野における取組強化としてVtuber(ブイチューバー)アナリストの募集開始
Web広告収入	FISCOアプリや FISCO Webにおける広告等による売上計上見込
テレワークの促進	社員のモチベーション維持しつつ、事務所賃料等の固定費削減を見込んでおり、追加で10百万円超の費用削減
ローコストオペレーション	執筆コスト外部化、原価見直し等の継続的なコストカットを実践

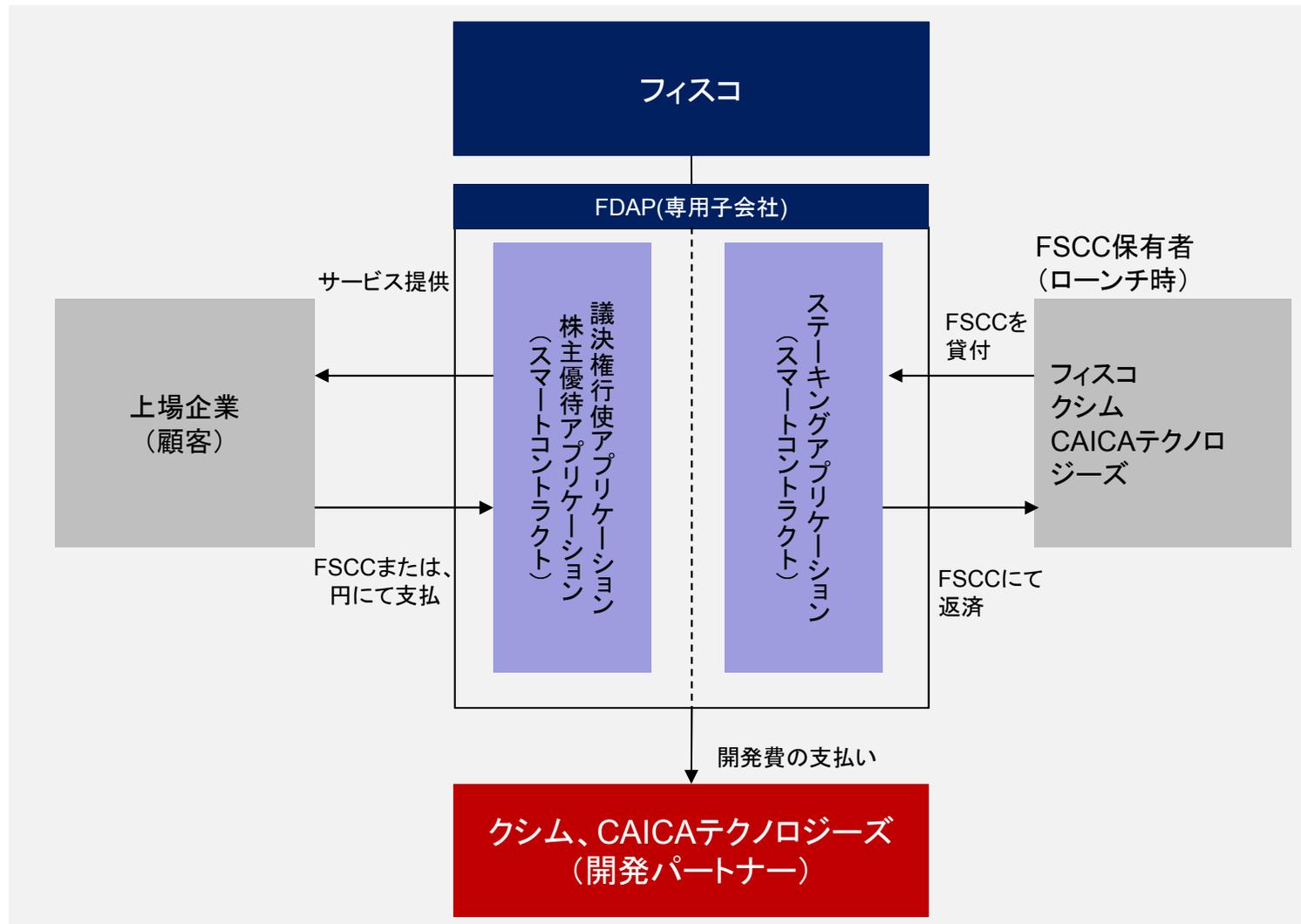
株式会社FISCO Decentralized Application Platform (FDAP)

スマートコントラクトを利用したバーチャル株主総会の議決権行使アプリケーション、株主優待アプリケーション、フィスココイン(FSCC)のステーキングアプリケーションの開発および保有する事業法人として、連結子会社化。

DApps および DeFi の概念を活用した新規ビジネスの創造、FSCC の価値向上を通じてフィスコの企業価値の向上とグループ事業規模拡大を目指す

バーチャル株主総会の議決権行使、株主優待、ステーキングアプリケーション開発

スマートコントラクトを利用したアプリケーション開発を行い、フィスココイン(FSCC)を活用するアプリケーションのプラットフォームを構築。11月から順次リリース予定



当社持分法適用関連会社の株式会社フィスコ仮想通貨取引所は2020年8月31日付で金融庁より資金決済に関する法律第 63条の 16 の規定に基づく、業務改善命令の報告義務が解除

2020年11月1日より株式会社フィスコ仮想通貨取引所から、株式会社Zaifへ商号変更

株式会社フィスコ
仮想通貨取引所

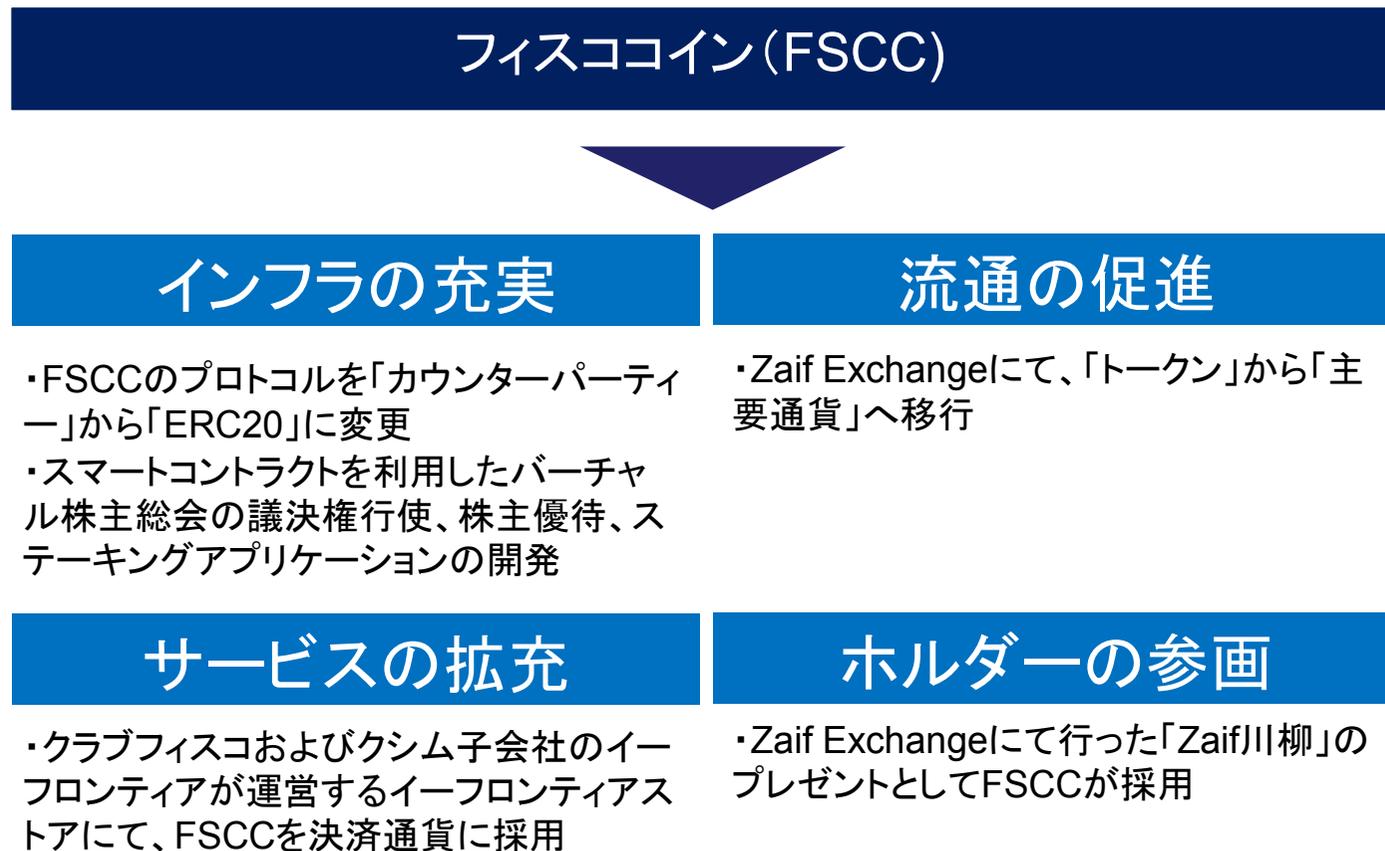


株式会社Zaif

「Zaif」を全面に打ち出したブランディングとマーケティング施策の強化を図り、顧客利便性向上にむけたサービスを提供

フィスココイン(FSCC)経済圏の拡大

FSCCの価値向上を通じてフィスコの企業価値の向上を目指す。同時に、ブロックチェーン技術の適用に起因する金融・価値革命の時代を見据え、暗号資産／トークンを活用した規範的な事例を生み出し、デジタル技術の進展が切り開く未来、健全な資本市場の形成に貢献



本資料の取り扱いについては、株式会社フィスコに関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述を含みます。

これらの記述は、当社が本資料の作成時点において入手した情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提(仮定)を使用しています。

これらの記述または前提(仮定)は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、統合レポート等をご参照ください。

本資料における将来に関する記述は、本資料の作成時点のものであり、本資料の作成時点の後に生じた事情によりこれらの記述に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務は負いかねますのでご了承ください。

本資料で使用するデータまたは表現等の欠落、誤謬、本書の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。